



2020年は 当別町150年！

当別町150年記念式典が行われる2020年10月まであと1年となりました。これまでの活動の紹介とイベントをご案内します。

★問合せ 総務課 150年記念事業係
(☎ 23 - 2330)

150年に向けて

若い発想！ タウン ミーティング



町内の学校（当別小、西当別小、当別中、西当別中、当別高、北海道医療大）の児童・生徒・学生の代表などが参加する「タウンミーティング」では、「来年の当別町150年記念事業に向けてどんな企画をやりたいか」話し合いを進めています。参加者は小学生、中学生、高校生、大学生チームの4チームに分かれ、各チームでスローガンを決めた後、スローガンに向けた企画を出し合い、「お祭りをやりたい」「町のPR動画を作りたい」などの意見がありました。今後のタウンミーティングでは、さらに内容を掘り下げ、企画を考えてい

150年に向けて

町民の 意見を聴く！ (町民ワーク ショップ)



きます。各チームが考えた企画は、10月14日のイベントで発表しますので楽しみに！

8月24日（当別小）と25日（西当別小）に、150年記念事業のアイデアについて町民の皆さんで話し合う「意見交換会」を行いました。事業のテーマ・内容などを各グループで話し合い、最後に150年記念事業へのさまざまなアイデアを発表し合いました。8月下旬には、この意見交換会を基にアンケートを実施しており、意見交換会の結果とあわせてイベントでお知らせします。

150年に向けて

★10月14日イベント開催！ ぜひご来場ください！

日時 10月14日（月・祝）
13時～15時
場所 ふれあい倉庫

当別町150年に向けたイベントを、いよいよ開催します。イベントでは、タウンミーティングや意見交換会でいただいた「企画を発表」する他、子どもたちがデザインした「シンボルマークのお披露目」、町民の皆さんからイベント等で書いていただいた「当別町への想い メッセージキャンバス」も披露されます。先着150名にはノベルティグッズや当別町・姉妹都市の特産品のプレゼントの他、当別町と宇和島市がコラボ制作

した「鯛じゃが缶詰」の試食会も行います。

★バスツアー 参加者募集中！



イベントに合わせたバスツアー参加者を引き続き募集しています。当別の名所を巡り、歴史について理解を深めませんか？参加者には昼食が付き、当別の新米1キロもプレゼント！

■日時 10月14日（月・祝）

9時～13時（8時50分集合）

■対象・定員 当別町民 40名（先着順）

■申込方法 電話またはFAX（氏名・住所・連絡先を記載）で10月7日（月）までにお申し込みください。

ホットな話題大募集！ 広報広聴係 ☎ 23 - 3069

大会成績や身近な話題、地域の取り組みなど
皆さんからの情報提供をお待ちしています。

大会成績や地域貢献 etc.

◆ 北海道地区大会優勝で出場 ◆ 全日本クラブ野球選手権



全日本クラブ野球選手権大会が8月26日から4日間、プロ野球西武ライオンズの本拠地メットライフドーム（埼玉県）で開催され、春日井兆治さん（町職員：札幌ホーネッツ所属）が出場しました。選手権は硬式野球のクラブチーム日本一を競う唯一の全国大会で、優勝チームには社会人野球日本選手権の出場権が与えられます。春日井投手は2対5のピハインドの7回途中から登板し、1回1/3を無失点・2三振と見事な投球を披露しました。「初めての全国でしたが緊張よりも楽しかった。持ち味の三振でピンチを切り抜けてとても気持ちよかった」と春日井さんは話されていました。

◆ 地域貢献活動の ◆ 2社に感謝状を贈呈



岡代表取締役（右）、許士執行役員副社長（左）

ハヤカワ建設株式会社（当別町）が7月17日・18日に町営住宅の空き家草刈りを、萩原建設工業株式会社（帯広市）が7月30日に町道二十三線道路排水の堆積土砂の除去等に地域貢献として取り組んでいただきました。この活動に感謝し、ハヤカワ建設の岡隆哉代表取締役、萩原建設工業の許士裕恭執行役員副社長に宮司町長より感謝状を贈呈しました。

◆ フラワーアレンジメント競技で ◆ 最優秀賞！ 全国大会出場へ



日頃の学習などで得た農業に関する知識や技術を競う全道技術競技大会が、7月31日・8月1日に岩見沢農業高校（岩見沢市）で開催され、当別高園芸デザイン科2年の碓つきほさんがフラワーアレンジメント競技の部で最優秀賞を受賞しました。作品は決められた花材・花器を使い制限時間内に制作するもので、今年は「トクサ」を使ったデザインで競いました。碓さんは「10月の全国大会（新潟県）までに練習を重ねて良い作品をつくりたい。全国レベルの作品を直接見たい」と意気込みを語っていました。【外側の角度をつけた茎がトクサ】



◆ 振る舞いそばでみんな笑顔



「そば処 福住」のオーナー鶴野信幸さんが、9月13日に一人暮らしの高齢者など11人を店舗に招待し、天ぷらそばを振る舞いました。鶴野さんの奉仕活動は平成12年から続いています。招待された方は、「普段は一人なのでなかなか来店することができないので、ありがたい」との声がありました。送迎は、社会福祉協議会が協力して行いました。

◆ 100歳を迎える方へ ◆ お祝い状と記念品



今年度100歳を迎える堀川ハルさんへ内閣総理大臣から祝状と記念品が贈られ、宮司町長より伝達されました。堀川さんはとてもお元気で、毎日食事をしながら会話を楽しんでいるそうで、今回の総理大臣からの祝状を大変喜んでいらっしゃいました。町内では奥山ヨシ子さん、長谷川シメノさんの計3人が100歳を迎えられます。おめでとうございます。

◆ 介護専門職が勉強会「町民の ◆ 自立した生活を目指して」



介護サービスの利用者が地域で自立した生活が送れるよう、介護サービスの支援方法を考える「自立支援型地域ケア会議研修」が、9月3日にゆとろで行われました。町地域包括支援センターが主催し、介護サービスの提供に関わる事業所や医療機関の専門職など計53人が参加。講師には北海道石狩振興局の山口祥美さんが招かれ、「利用者ができないことにサービスを提供するのではなく、しづらさを克服するためのサービスを提供すること。その判断をする『ものさし』を専門職が同じ大きさにすることが大切であること」などを、討議を通して考えました。